

# 上尾西ロータリークラブ会報

Weekly Bulletin of Ageo west Rotary Club  
創立 1973年3月28日



会長：田邊 利幸 副会長：川田 淳也  
幹事：紅谷 弘二 副幹事：原 雅之  
S.A.A：新井 登志彰

クラブ会報委員長：中村 次男  
齋藤 幸一

発行日 2022-12-21  
通算 第2568回  
本年度 23回(2022.12.7)



2022～2023  
RIテーマ  
イマジン  
ロータリー

国際ロータリー会長  
国際ロータリー第2770地区ガバナー  
第5グループ ガバナー補佐  
第5グループ ガバナー補佐幹事

ジェニファー E. ジョーンズ (Windsor-Roselandロータリークラブ)  
細淵 雅邦 (浦和ロータリークラブ)  
那須 敬明 (上尾北ロータリークラブ)  
榎本 学 (上尾北ロータリークラブ)

## ●本日のゲスト●

- ・特定非営利活動法人ファイアーレッズメディカルスポーツクラブ 理事長 浦和学院高校野球部前監督 森士 様
- ・上尾中央医科グループ協議会 飯野陽子 様 鏡川奈緒 様

## 会長挨拶 (田邊利幸 会長)



私は、こう見えてもサッカー少年でした。一昨日の日本代表の試合は本当に惜しかったです。ワールドカップは約144カ国が参加し、本大会に出場出来るのは36チームで、オリンピックより盛り上がる大会です。因みに、優勝国の賞金は今回のカタールでのワールドカップで4200万ドル(約59億)、ベスト16に入った日本も1300万ドル(約18億)もらえるそうです。ワールドカップは本当に難しい大会と言われており、1930年に第1回が開催されてから今回で22回を迎えますが歴代の優勝国は8カ国しかありません。私が子供の頃は、日本がワールドカップに出場することすら大変なことでした。その日本が世界のベスト8に入れるかのチャンスとあり気合いを入れて応援しておりましたが、壁は厚かったです。さて、そんな日本代表の監督を務めたのは森保一監督です。森保監督は、現役の頃から代表にて活躍しており、あの「ドーハの悲劇」の時の選手でした。日本代表とイラク代表の試合で試合終了間際のロスタイムでイラク代表の同点ゴールが決まり、日本代表のW杯初出場が絶たれた試合です。2018年7月より日本代表を率いて、予選、本戦とベスト16まで持っていました。森保監督は真面目で規律を重視する監督といわれており、有名なのは試合中も常にメモをとっていることです。今回のワールドカップで海外のメディアでも話題となっていました。そして、監督がメモをとると偶然にも日本が点を取ることから、「デスノート」とも呼ばれ話題になっておりました。また、監督は試合には常にスーツで望んでいて、どんなに暑いときでも大体スーツを着ています。理由は、サッカーの発祥地は紳士の国のイングランドなので監督も身だしなみとしてスーツを着用するとの考えらしいです。試合後、監督は会見で「全てが一気には変わらないと思いますし、いきなりスーパーマンにはなれないと思いますので、地道に積み上げていくことが大切だと思います。」という森保監督らしい言葉を残しておりました。また、4年後日本代表がベスト8に入れることを楽しみにしながら、応援していきたいと思います。また、試合後の三苦選手の涙が印象に残っております。スポーツって、本当にいいものですね。さて、スポーツつながりで高校野球でご活躍された浦和学院前監督森士(もりおさむ)様に卓話にきていただいております。監督論、熱い想い等をご講演お願いします。

## 幹事報告 (紅谷弘二 幹事)



- ①12月ロータリーレートは1ドル138円。
- ②新年の賀詞交歓会は中止。会自体は開催されますが、ロータリーは参加しません。
- ③「青森県津軽地方豪雨災害支援金のお礼と報告」がきています。当クラブからは1人頭500円の数分とプラスアルファで寄付をしています。
- ④台北稲江扶輪社への義援金に関して返金の処理をしていますのでご確認ください。
- ⑤「RI第2770地区ガバナーナイトのご案内」がきています。5月27日～オーストラリアのメルボルンで開催されます。
- ⑥本日、例会後に定例理事役員会を行います。

## 本日の卓話 「30年の高校野球監督見聞録」

### 特定非営利活動法人ファイアーレッズメディカルスポーツクラブ 理事長 浦和学院高校野球部前監督 森士 様



浦和学院高等学校野球部の監督として30年間仰せつかっておりました。あくまでも人材育成術、監督の立場から見た教育者からの視点、また、私なりの見解と現場での話を交えながら話を進めていきます。89回大会を行った中で、監督を1年目から在任した27年目までは3回大会がある内の1・2回は必ず優勝することができました。しかし、2年目と8年目だけは夏の決勝戦で負けて優勝を逃したのですが、県の決勝戦は毎回出場していました。決勝戦に進んだ中での通算成績は54勝12敗となります。甲子園は22回程進出したのですが、何よりも1つのチーム作りをやってきたのが自分の中の証かなと思っています。「選抜甲子園優勝を実現出来た2つの要因」として、1つ目は監督生活15年目から長男、3年後に次男が入部して約6年間親子で甲子園を目指したという経験がありますが、現場では親でもなければ子でもなく勝負の中では厳しく接しました。息子たちが卒業した後は考え方を考え、お預かりした選手たちに対する、想い・心配・愛情。それは実の息子に対する想いと一緒でした。

自分の息子を預かった時のプレッシャー、実の息子を甲子園に連れて行かなければという親の想いが非常に深かったかなと改めて考える次第です。人間形成を求める指導とは？2人の息子と親子鷹で甲子園に出場できたことを考えると、子育てであり躰。この部分が教育の原点であったと振り返ると思う次第です。2つ目として、20年目に東日本大震災被災地の石巻・東松島市でのボランティア交流活動を始めて11年間継続しました。そこで、命の大切さ・失う前に気づく「野球ができるありがたみ」・義理、人情の深さ・気配り、目配り、心配りの気づき・教えることの難しさ・感謝の気持ちを学ばせていただきました。5年前、当時52歳の時に春優勝してから現場の指導に行き詰まりを感じ始めたのがキッカケで、早稲田大学大学院で1年間勉強してきました。そこで学んだことが3つありました。大学教授からは、「すべて否定、疑問からの始まり。皆が認められる考えを持ちなさい」と否定から考えることを教わりました。そして、組織の人間関係には常に相反性が生じます。その中で解決していくのはどうしたらいいのか？「過去と他人は変わらない、自分と未来は変えられる」私が非常に好きな言葉で、周りに影響力を与えることが出来るのではないかと学びました。その中でWin-Winの環境を築くには、ミーティング(話し合い)の重要性を感じました。「先ず相手の話を聞き、決して**否定はしない**、しかし**肯定もしない**」。否定はしない⇒相手の身になって考え、相手をリスペクトすることが理解してから理解される原点。肯定もしない⇒その場凌ぎのお人好しは後で困る。黙っている事は理解して認めたことと同じである。相手が心を開いてくれることで一方通行の話しにならず、Lose-LoseまたはWin-Loseを防げるのかと思います。何よりも、授業を受ける立場になって生徒の気持ちになれたのが大きかったです。いつの間にか俺の言う事聞けば勝てるのに何で解らないのだろうか？と感じていて、実際自分が授業を受けると教授のスピードに全くついていけず、改善策としてボイスレコーダーを活用しました。最後に教育(共育)とは自分自身の研鑽。各々の現場で、社会貢献できる人材を皆さんと一緒に育てていきましょう。

●本日の献立●

カルボナーラうどん 洋風茶碗蒸し  
コロケチーズ焼き クリームスープ



**田邊利幸君** 特定非営利活動法人ファイアーレッズメディカルスポーツクラブ 理事長 浦和学院高校野球部前監督 森士様、卓話ありがとうございます。上尾中央医科グループ飯野様・鏡川様、本日もありがとうございます。

**紅谷弘二君** ファイアーレッズメディカルスポーツクラブ理事長 森士様。上尾中央医科グループ飯野様・鏡川様、ようこそ！浦学の常軍団を築き育てたお話、興味深く拝聴しました。ありがとうございました。

**川田淳也君** 浦和学院高等学校 副校長 森士様。上尾中央医科グループ協議会 飯野陽子 様 鏡川奈緒 様。本日はようこそお越し下さいました。

**中村秀夫君** 私も年甲斐もなく、ワールドカップを朝まで観ていました。日本代表が負けてしまい残念でした。

**齋藤一夫君** 浦和前監督 森士様、本日は卓話有難うございます。

**渡辺博司君** 森様、卓話ありがとうございます。

**日吉千穂重君** 上尾中央医科グループ飯野様・鏡川様。森士様。ようこそ。

**福崎菊夫君** 森先生、大変お忙しい中、卓話ありがとうございます。興味深く楽しく聞かせて頂きました。

**郡司貴江君** 本日はお忙しい中、森先生、卓話ありがとうございます。ありがとうございました。

原雅之君・片桐勇様・齋藤一雄君・小山清君・水野正男君・河原畑光一君・中山邦君・小岩井忠君・中村次男君・齋藤幸一君・山崎康裕君・本田幸司君・高橋昌弘君

( ¥ 26,000 累計 ¥ 387,000 )

委員会報告



**親睦委員会 郡司貴江 委員長** 来週、家族忘年会が行われます。送迎バスが旧大宮デパートの前から出ます。17時半なので遅れないようにお越しください。会費ですが振込だけではなく集金も受け付けていますのでよろしくお願いします。

**国際奉仕委員会 高橋昌弘 委員長** 台北稲江扶輪社の創立 36 周年事業参加のお願いです。3月2日～4日なのですが20名に達していないので、できれば参加をお願いします。



**ロータリー財団委員会 河原畑光一 委員長** 財団の寄付の金額で今月はレートが138円となっています。27,600円となるので米山と合わせて47,600円という形になります。今年度8月の次に低い金額となるので、今月中に寄付をお願いいたします。



米山奨学生 日帰り研修旅行 11月26日(土)



**新井登志彰 カウンセラー** 米山記念奨学部門は今年度第2回の研修バス旅行で千葉方面に行って参りました。雨に降られることもなく楽しく過ごせました。奨学生同士の親睦も深まったと思います。

フェロシップ委員(12月度)  
北西功 山崎康裕

出席報告

例会	会員数	対象 会員数	出席数	免除者 出席数	出席率
2568回	42人	30人	23人	7/12人	62.16%

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30  
 例会場：上尾東武ホテル コミュニティホール  
 事務局：上尾市谷津2丁目1番34号 日和ビル4F  
 TEL：048(772)4104 FAX：048(772)3344  
 上尾西RCメールアドレス：awestrc@ceres.ocn.ne.jp  
 ホームページ：<http://www.rotary-ageowest.jp>

